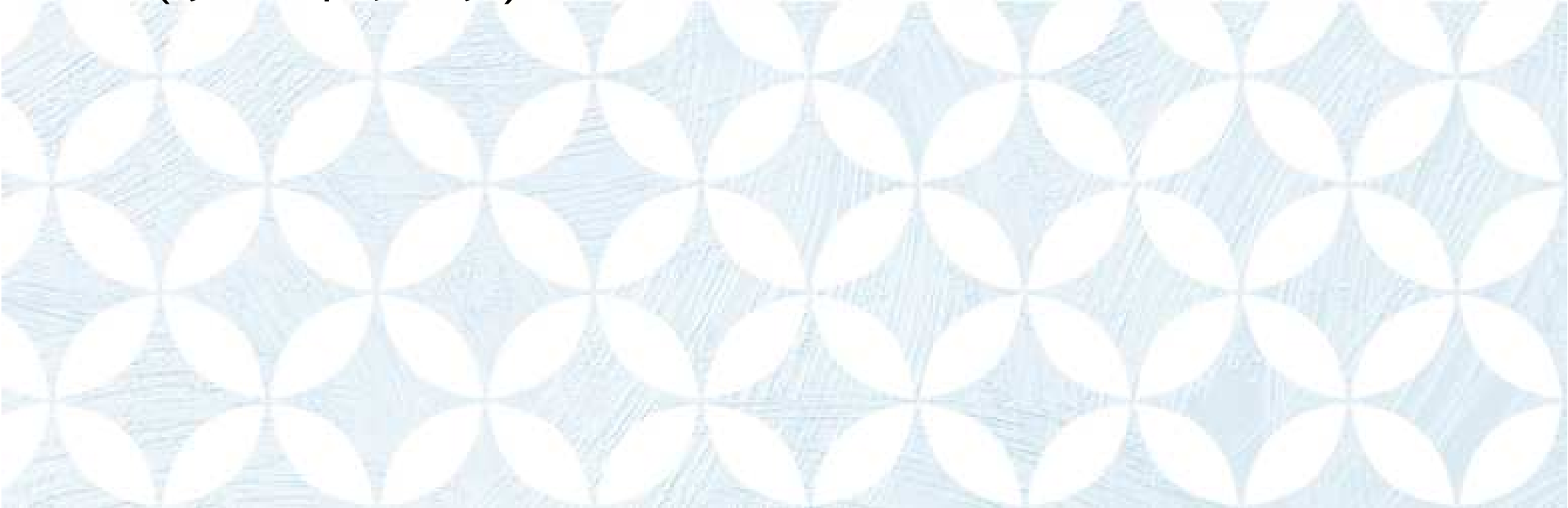


テレワークで”まち”に飛び出せ！
(リモートワーク)





加藤 咲子 (かとう さきこ)

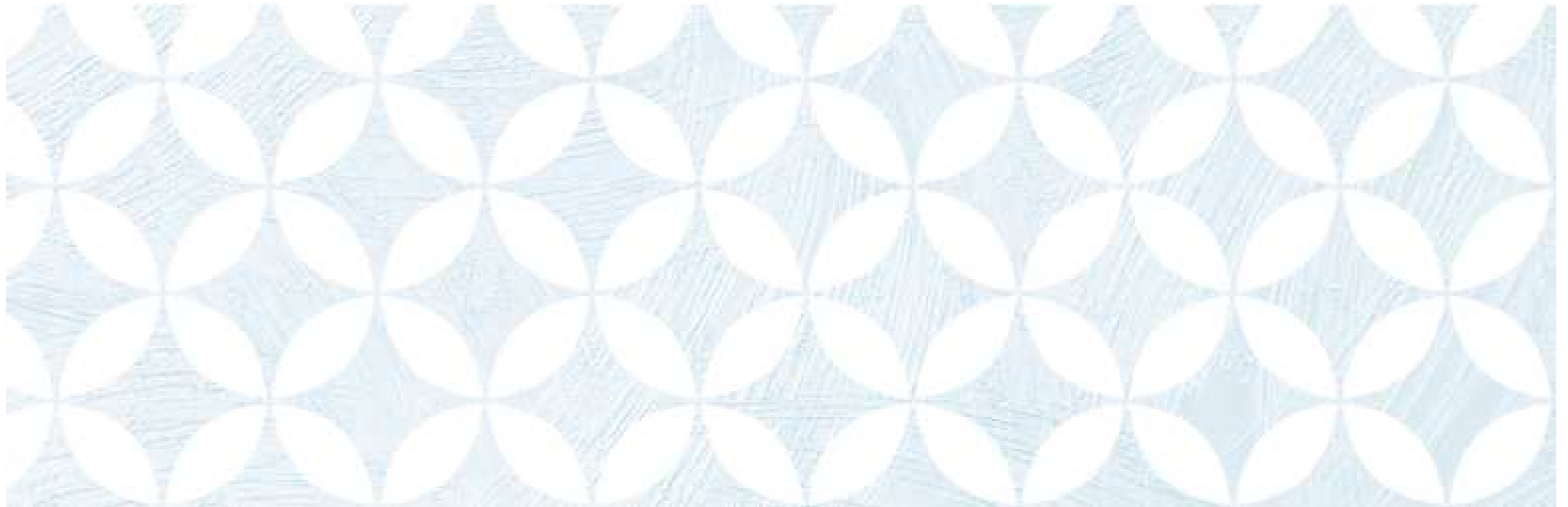
東日本電信電話株式会社
ビジネスイノベーション本部副本部長
ソーシャルイノベーション部長
執行役員

出身地 埼玉県川越市

【略 歴】
1993年 日本電信電話株式会社
入社



I.NTT東日本の事業概要



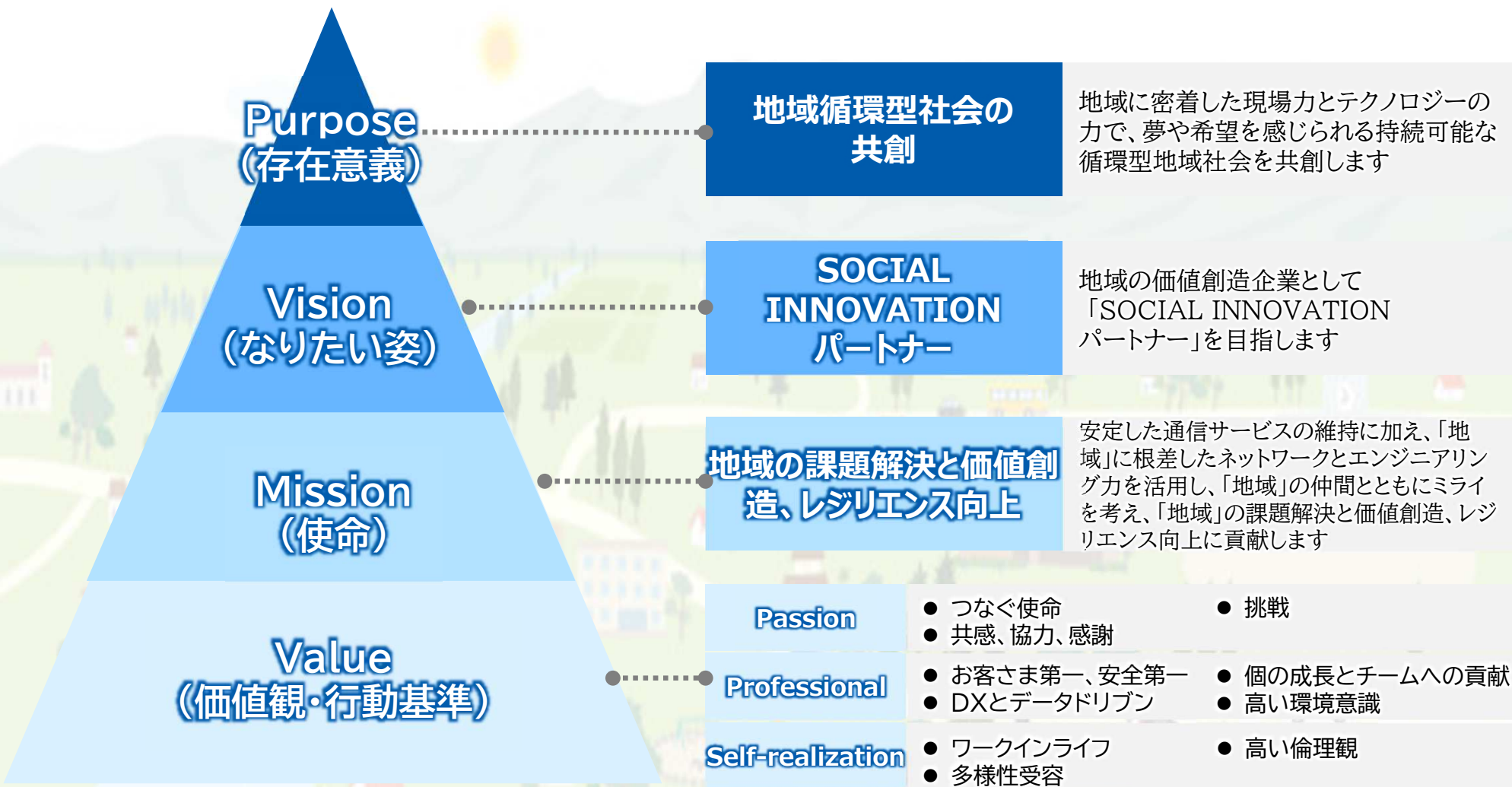
ソーシャルイノベーション企業をめざして

『地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業』



パーパス、ビジョン、バリュー、ミッション

NTT東日本グループのパーパス





Ⅱ.NTT東日本のワークスタイル変革



新たな働き方に向けた三大改革

制度改革

環境改革

意識改革

新たな働き方に向けた「意識改革」

経営管理指標設定

経営マネジメント指標として、**リモートワーク率70%**を設定

トップメッセージの発信

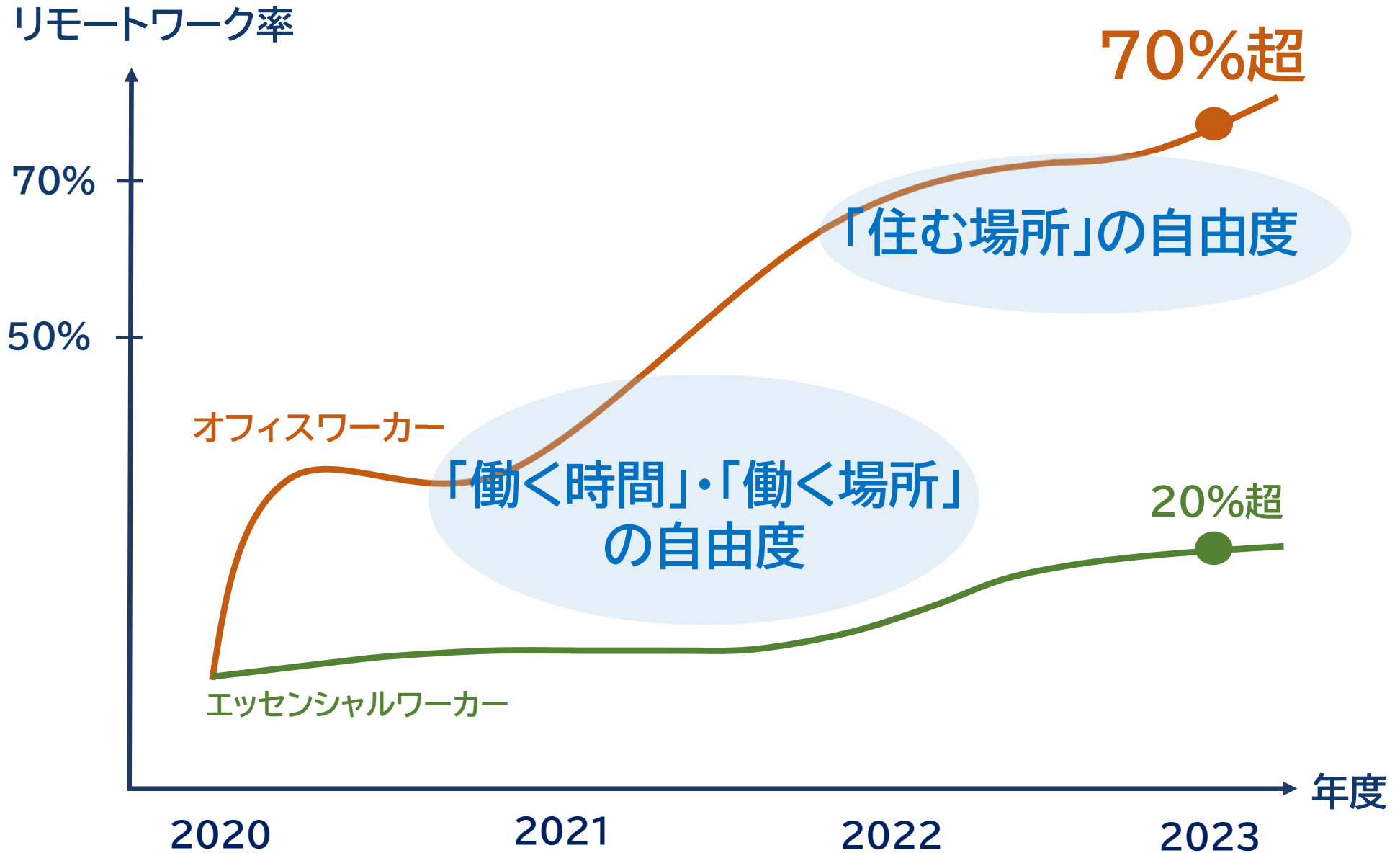
時間を有効に使う働き方

通勤・移動時間、空き時間を活用し、自己成長やワークインライフの実現

場所を問わない働き方

仕事をする場所・時間を自らコーディネートする“自律”した働き方

NTT東日本のリモートワークの歩み

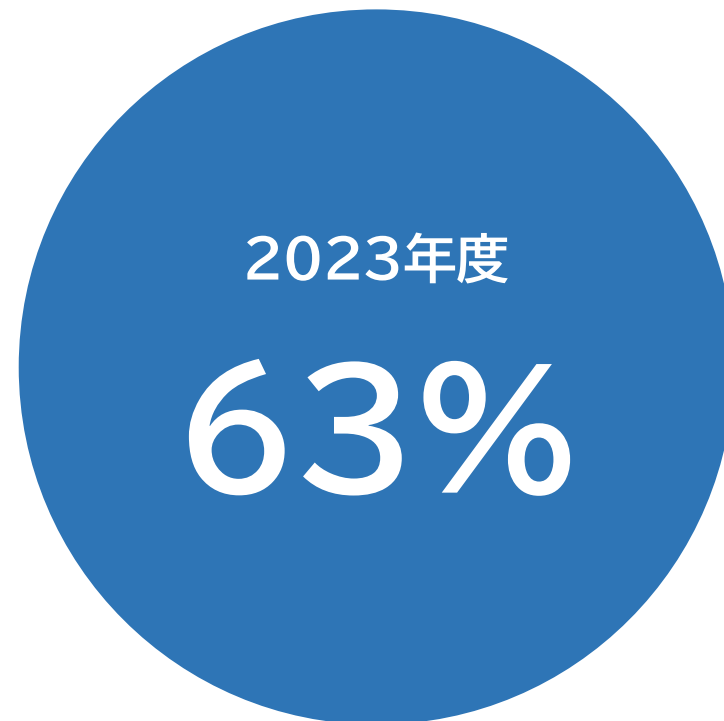


「自律的な働き方」に関するアンケート結果

問. あなたは自律的に働き方(リモートや出社)を選択できていると思いますか？

自律的に選択できていると回答した社員 **10%増**

※n=約25,000人

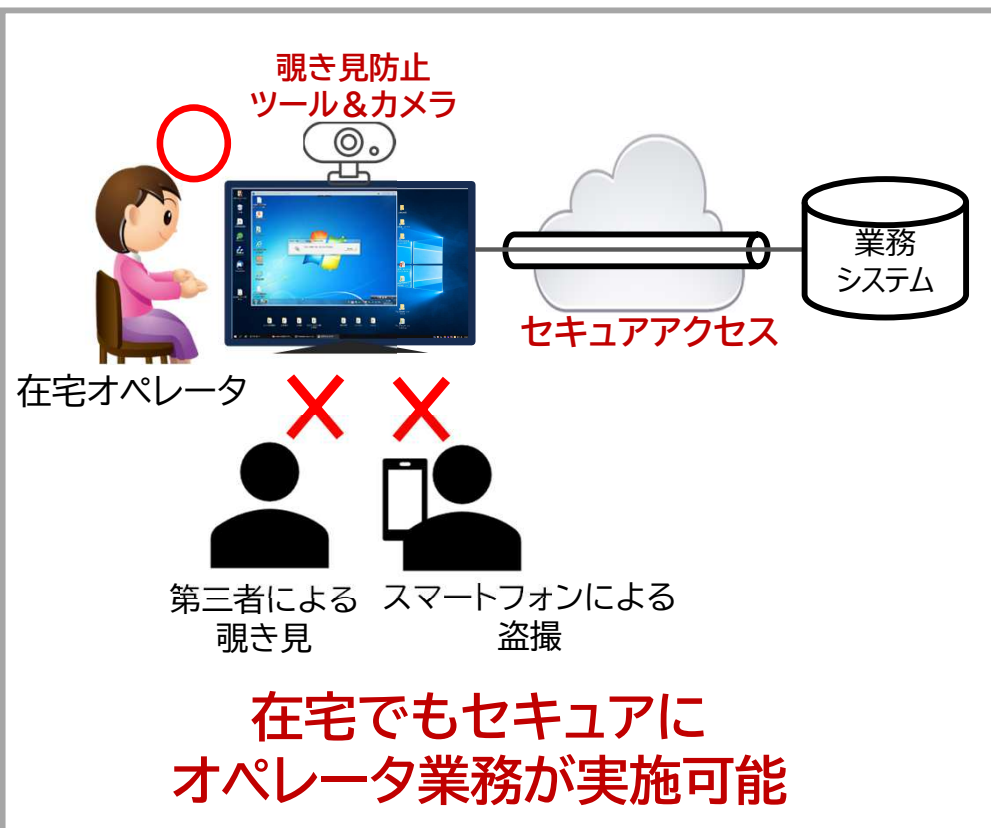


リモートワークにおける課題(エッセンシャルワーカー)

エッセンシャルワークのリモート化推進

- <例> ・ 機微情報(お客様情報等)を扱うコールセンタ
・ 通信サービスを維持するための現地作業

在宅コールセンタシステム導入

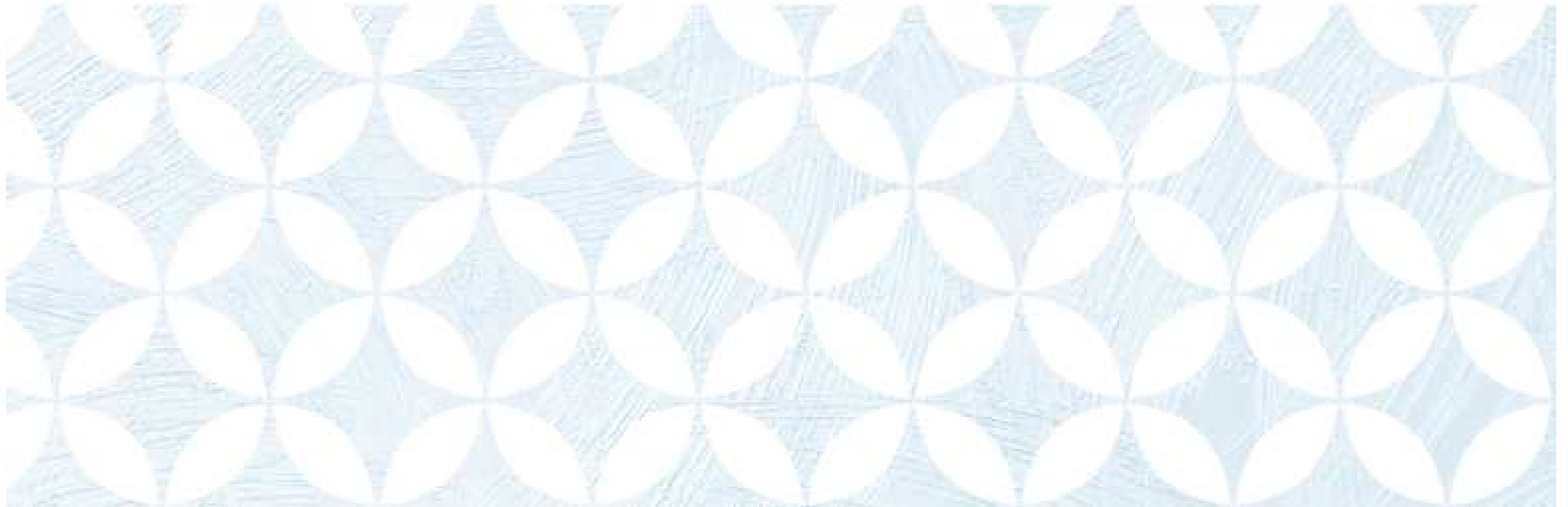


NWカメラによる現場の見守り





Ⅲ. “まち”に飛び出した社員の事例



事例①: 副業のために“まち”へ

本社(東京)に勤務しながら、**地元の北海道へ移住。**
社内副業等、**パラレルワーク**を実施

本業
新規事業(農業)



社内副業
共創プラットフォーム



社外副業
大学講師



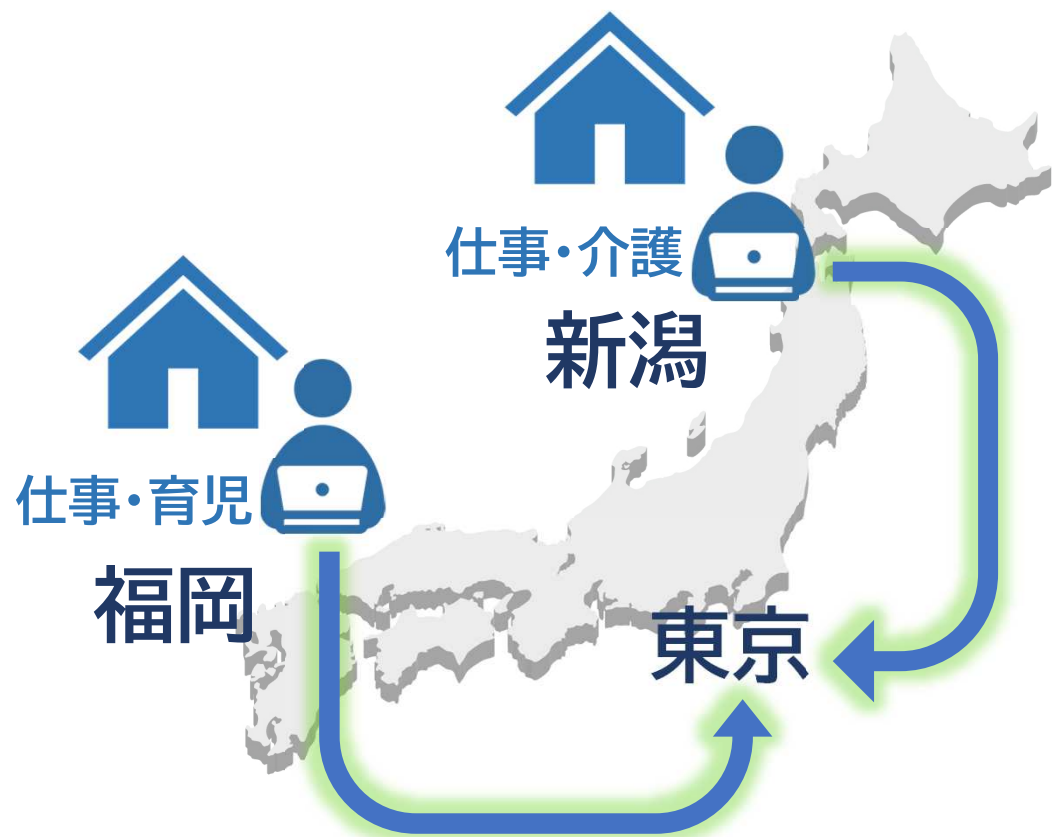
プロボノ※
オンラインキャンパス運営



※プロボノ(pro bono)とは、職業上のスキルや経験を生かして取り組む社会貢献活動

事例②：家族のために“まち”へ

パートナーの地元へ移住し、
単身赴任をせず両親の介護や育児などに注力

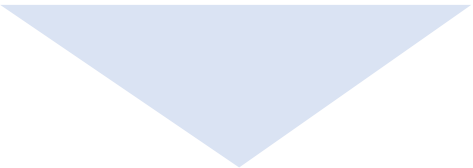


事例③:空いた時間を“まち”へ

地域の消防団として積極的に活動に参加し、 火災発生時等の駆け付けが可能に

～リモートワーク導入前～

- 勤務地が遠いので、毎月2回の定例点検活動に参加できない
- 緊急時の駆け付けができない


- 
- 通勤時間がなくなったことで、遅れずに活動に参加できる
 - 火災発生時は5分以内に詰所に駆け付け可能に



事例④:リフレッシュのために“まち”へ(1)

宿泊施設として提供された**社宅**(一部)を利用して
 “まち”に長期滞在。仕事をしながら**家族との旅行**
 や**地域貢献活動**に取り組み、自身もリフレッシュ
 ⇒「定住」「交流」でなく、「**関係人口**」※を増やすのがポイント

「ワーケーションin山形」

	新たな働き方	リフレッシュ 地域経済への貢献	地域活性化 地域の課題解決	リフレッシュ 地域経済への貢献
社員本人	 移動/ワーケーション 1日目	 山形観光 2日目	 dayworkで農作業 3日目	 山形観光/移動 4日目
ご家族	 移動/山形観光	 山形観光	 山形観光	 山形観光/移動



※「関係人口」とは、特定の地域に移住した「定住人口」や観光でなく、地域と多様に関わる人々を指す言葉

事例④:リフレッシュのために“まち”へ(2)

「ワーケーションin山形」 地域活性化活動の例

	所属会社/部署	宿泊数	宿泊者数	実施した地域活性化活動
参加者1	神奈川支店 第一BI部	3泊4日	1	山形花笠まつりへの参加
参加者2	秋田支店	4泊5日	1	山形市鳥獣害対策活動 (イノシシワナ見回り活動、ワナ研修会参加)
参加者3	東京南支店 設備部	4泊5日	4	こけし絵付け体験
参加者4	NTT東日本-関信越 パートナービジネス部	4泊5日	1	美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン2023へ参加
参加者5	ネットワーク事業推進本部	4泊5日	2	そば打ち体験
参加者6	東京事業部 パートナービジネス部	3泊4日	1	山形まるごとマラソン大会でのボランティア活動
参加者7	神奈川事業部 パートナービジネス部	3泊4日	2	七宝焼き体験
参加者8	神奈川事業部 パートナービジネス部	3泊4日	2	栗拾い、織物体験
参加者9	ビジネス開発本部	4泊5日	6	芋煮体験(芋煮キットを購入し、河原で実施)

事例⑤: 新たなビジネス創出のために“まち”へ

本社(東京)に勤務しながら、茨城県へ移住したことで、地方創生における**真の課題創出**が可能に



- ・仕事で茨城県の地方創生事業に携わったことがきっかけでつくば市に移住
- ・地方創生への当事者意識が醸成


- ・地元の茨城県東海村へ移住
- ・客観的な視点で会社やまちに貢献し、志を持った人たちと「化学反応」を創出

※二人は地方創生に従事するため、2年前にNTT東日本へ転職





参考：NTT東日本におけるまちづくり
への取り組みについて



参考:まちづくり推進機能の設置(2023年10月1日より)

News Release

東日本電信電話株式会社

2023年9月5日

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

業務運営体制の見直しについて

1. 目的

東日本電信電話株式会社（以下、NTT東日本）は、地域の新たな価値創造を支え、多様なデジタルソリューションを機動的に提供する体制整備を目的に、以下の通りNTT東日本グループの業務運営体制の見直しを行います。

2. 主な見直しの内容

(1) 東日本エリア全域へのまちづくり推進機能の設置

東日本エリアの事業部・支店に“まちづくり推進・コーディネート”機能を新たに設置し、地域のステークホルダー（地方自治体・企業・教育機関・地域住民等）の皆さまと、まちづくりをロングタームで創り上げ、新たな価値創造につなげる取組みを強化します。

2023/9/5報道発表
(当社ホームページより抜粋)

⇒東日本エリア全域への
まちづくり推進機能の設置

NTT東日本グループのまちづくりビジョン

Why

(なぜ私たちがまちづくりに取り組むのか)

- ・長年、地域に寄り添い続けてきた
- ・「つなぐ」「つなぎ続ける」使命を果たしてきた
- ・社員が住み、地域にアセットがある

What

(私たちは地域に何を提供するのか)

- ・地域資源を活かしながら、自律した循環型のまちをつくる
- ・Well-beingが実現し住み続けられるまちをつくる
- ・地域間共創で新たな価値をつくる・住民が誇れるまちをつくる
- ・住民が誇れるまちをつくる
- ・世界が注目するまちをつくる

How

(私たちならどのように取り組むのか)

- ・地域を理解し、共感
- ・ありたい姿からバックキャストで見通しを立て
- ・ロングタームで地域と共に現場で実践
- ・人材、地域デジタルインフラ基盤を活用

キラリとひかる、まちをミライへ

地域の価値創造企業へ

**SOCIAL
INNOVATION
パートナー**

NTT東日本グループ

